

令和5年度決算



家庭ごみ処理 手数料相当額編

【問い合わせ】

環境都市推進課 ☎(888)5706

各事業の詳細やこれまでの状況などは、市ホームページをご覧ください(広報ID番号 1044677)。

手数料相当額のイメージ



- 令和5年度の1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(資源化物・水銀含有ごみを除く)は485gです
- 手数料相当額の約半額を毎年積み立てている(右表①)一般廃棄物処理施設整備基金から、令和5年度は2億8,300万円を取り崩し、溶融施設大規模改修事業などの事業費の一部に充当しました

市では、ごみ減量のため、市民のみなさんに家庭ごみ処理手数料を負担していただき、全額を家庭ごみ処理に必要な経費に充てています。この手数料と同額の「手数料相当額」は、条例で使い道が定められ、ごみ減量やさまざまな環境対策に活用することになっています。



総合環境センタープラットホーム

次の世代の負担を減らし、私たちの美しい環境を未来に引き継ぐため、今後もご協力をお願いします

■ 家庭ごみ処理手数料収入(歳入) 4億4,524万8千円
■ 手数料相当額を活用した事業など(歳出) 4億4,524万8千円

歳出の内訳(①+②+③)

①一般廃棄物処理施設整備基金積立	2億2,262万4千円
②家庭ごみ減量などの対策事業	1億1,722万7千円
ごみ集積所の設置や修繕などに対する町内会への補助	741万4千円
生ごみ処理機などの購入費補助、食品ロス削減の取り組み	494万5千円
資源化物の集団回収を行う町内会などへの奨励金	1,262万5千円
資源化物の祝日収集	1,831万5千円
家庭から排出される古紙類回収の促進・支援	4,325万4千円
ごみ減量説明会・キャンペーンなどによる情報発信	498万4千円
ごみ集積所のパトロールや現場調査・指導	406万3千円
不法投棄防止のパトロールなどの対策	444万2千円
粗大ごみオンライン申し込みの事務委託やシステムに係る経費	89万8千円
家庭ごみ処理手数料収納管理、徴収事務委託やシステムに係る経費	1,628万7千円
③その他の環境対策事業	1億539万7千円
地球温暖化対策事業	
太陽光発電システムや木質ペレットストーブなどの導入費用補助	1,583万1千円
再生可能エネルギー施設のPR、情報発信	232万1千円
エネルギー使用状況の分析による市有施設の効率的運用	1,072万2千円
市有4施設での省エネ設備導入による光熱費削減	831万6千円
スマホアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」のシステム運用	655万5千円
温室効果ガス排出量現況推計による地球温暖化対策の推進	75万1千円
溶融施設の燃料の一部としてバイオマスチップを使用	620万4千円
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援	2,836万3千円
生活環境の保全に寄与する事業	
微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析業務委託	847万円
水銀含有ごみの収集運搬・処分に必要な経費	1,786万4千円